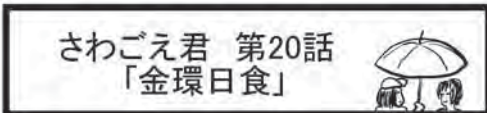


金環日食に東京スカイツリー、そしてお次は何でしょう？

空を見上げて、元気に歌っていれば 楽しいことがたくさん、長生きできます！



歌の勘違い① 童謡「赤とんぼ」の主人公は誰だ？

小学1年生で先生に「あんたオンチね」と言われた少年

小学1年生のとき、音楽の時間で先生に「あんた音痴ね」と言われて以来オンチになってしまって、人前で歌を唄うことが極端に苦手な男がいて、そんな男が4年近くもさわうたのホストを務めてきたというのだから、世の中驚きのタネは尽きない。

彼は、音楽の世界を出来るだけ避けながら、くよくよ生きてきたのだけれど、小さい頃にはよく鼻歌を歌っていたものだ。本当は歌が好きだったのだろう。だから、聴き伝えていろいろな歌を覚えてきた。でも「歌なんて楽譜を読みながら勉強して覚えるもんじゃないよ」なんて公言していたんだから、シンガーソングライターのさわうたのマスターが聞いたら、飛び上がって頭から湯気を発するぐらいなのに、それで4年近くを過ごしてきたのだから、つくづくすごいことをやってきた

ものだと思う。

さて、聴き伝えの歌にはよく勘違いというものがある、多くのみなさんが思い違いをしているのが童謡の「赤とんぼ」。

誰にもあるトンボ追いの 思い出と「赤とんぼ」の歌

大人になるまで、その彼はこの歌の主人公は赤とんぼだと思い込んでいたのだ。この歌が作られた時代は、娘が他家に嫁ぐことは、生まれた「家」から出て親兄弟と「他人」になることだったのだから、悲しい思いが強かったようだ。「赤とんぼ」はその娘がまだ無邪気な子どものときに野原で「追っかけられた」記憶をもっていて、今、空を飛びながらお嫁に行く娘を見つめて哀愁にかられている歌だと、そう思い込んで不自然ではなかった。

本当のことは、さわうたの歌詞画面で確認されたし。1921(大正10)年、三木露風作詞、山田耕筰作曲の楽曲。

プチ・ボイトレ 第10回 講師：斎藤敦子

5月29日(火) 13:30~15:30 1,000円 誰でも1回だけでも参加歓迎

ゆるゆるサロン第8回 ゲスト/河野利昭(Sax)

5月30日(水) 19時30分開場 20時~ 3,000円(詳細別紙)

6月12日(火) 13時半~ 第2回 プチ・シャンソン

1,500円/1ドリンク お一人様3曲を交替で独唱します。

シャンソンに興味のある方は是非！

＜さわうたカレンダー＞

太い数字=さわうた

..... = ふりうた

○ = プチコーラス

♡ = プチ・ボイトレ

⊙ = ゆるゆるサロン

◇ = プチ・シャンソン

2012 (H24) 年		5/27~6/23					
日	月	火	水	木	金	土	
27	28	29	30	31	1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	